

## A. 主な動き

### 1. 内政

#### ▼検事総長の傷害致死事件への関与の可能性

・6日、モカヌNGO「反汚職運動」代表は、2012年12月23日にズプロ検事総長が傷害致死事件に関わった可能性を公表。9日、共産党は、同検事総長の辞任を要求する旨の集会を実施。一方、同日、同検事総長は傷害致死事件に関わった可能性を否定。

・10日、フィラト首相は、同事件に関する検事当局の対応は不適切であった旨指摘、同検事総長は辞表を提出すべきとし、捜査結果を受けた閣僚の引責辞任の可能性に言及。同日、ティモフティ大統領は、議会は同問題に関する特別調査委員会を設置する必要がある旨発言。11日、自由党会派は、同事件に関わった政府関係者は速やかに辞任すべきである旨の声明を発表。

#### ▼その他

・5日、モルドバヌ社会問題担当副首相(自由党)は、医療機関閉鎖に関する違法な決定を下したとし、ウサトゥイ保健相

(自由民主党)の辞任を要求する旨発言。これに関し、10日、フィラト首相は、本件に関する判断は来週(14日からの週)以降に発表する旨発言。

### 2. 経済

#### ▼マクロ経済

・9日、国立銀行は、2012年12月末時点の外貨準備高が、対前月比3.8%増(9,200万ドル)、2012年当初からは25%増(約5億ドル)の25億1,400万ドルと報告。

### 3. 外政

#### ▼モルドバ・ウクライナ両国のドニエストル川河畔における協力

・10日、モルドバ政府は、2012年11月にイタリア・ローマにて署名されたモルドバ・ウクライナ両国間協定に基づき、ドニエストル川の水資源の恒久的利用、汚染軽減、生態系の悪化防止及び維持、及び自然あるいは人為的要因による水資源への悪影響の防止・軽減に関するウクライナとの協力を進める旨決定。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。(了)